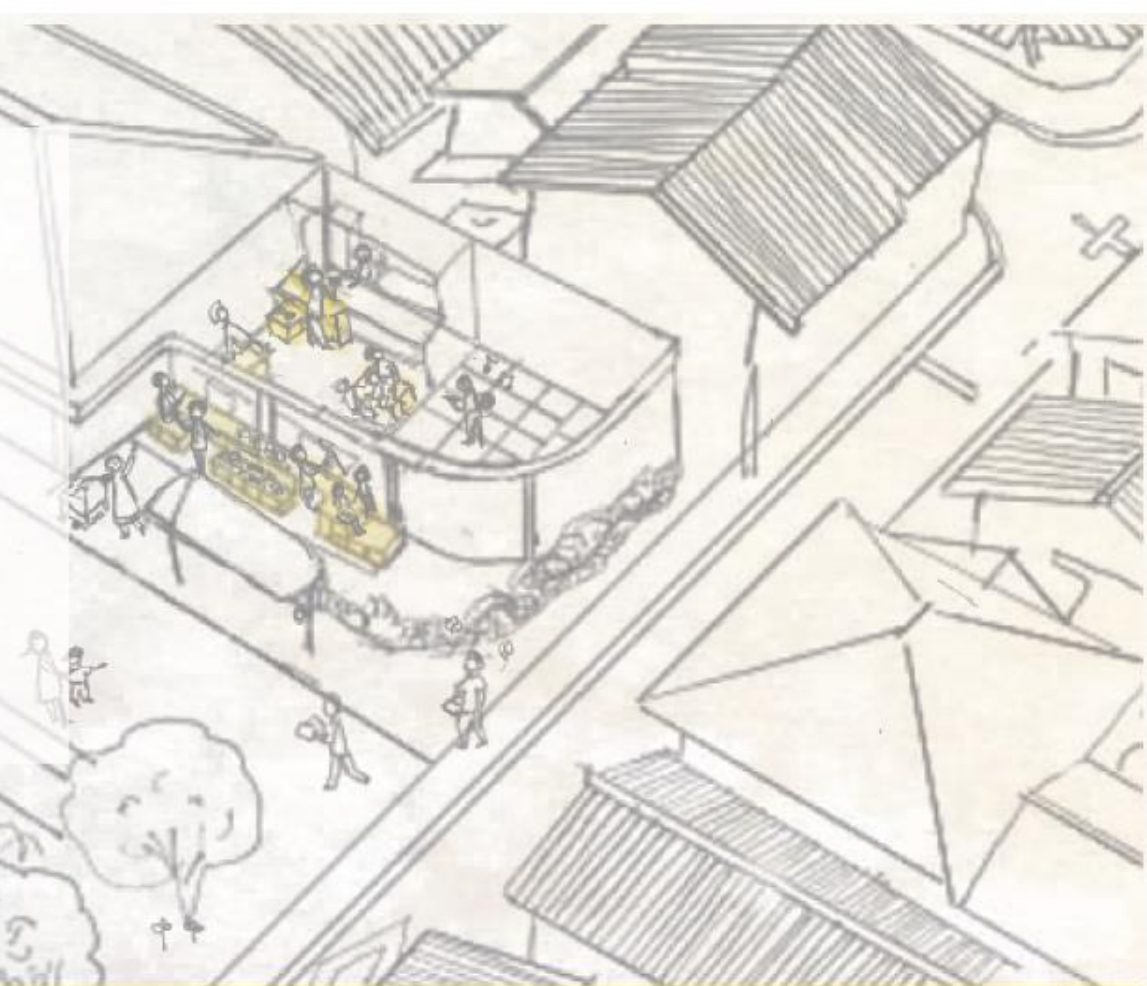


寄せあい逢合

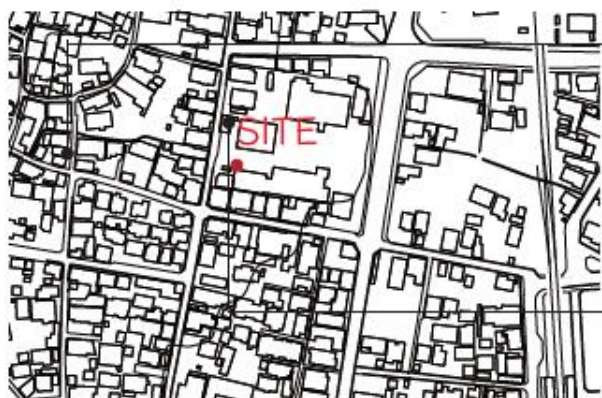
NPO 法人絆の理念である「出会いや人を大事にし、誰でも活躍できるまちづくりや助け合いのしくみづくりを進める」を設計を通して考え、地域の縁側が地域の人にとっての新たな出逢いの場、まちづくりを担う場として考えました。

「寄せあい」という方針に基づき具現化をしていきます。



1. 東浦町のもの寄せ文化を再構築。新たな出逢いをつくる

1-1 背景



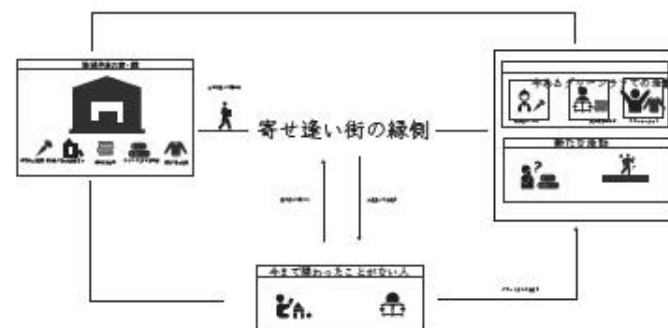
緒川郷村蔵



庭と蔵をもつ家が多い。庭で野菜が栽培されていたり、また木材が貯蔵されたり、陶器が並べられていたり、住居によって使われ方が異なる。人々の生活の様子が垣間見える。蔵には野菜や庭で使う道具、またあらゆる生活用品が置かれており、この地域に住む人は蔵にモノをしまふ習慣が根付いている。



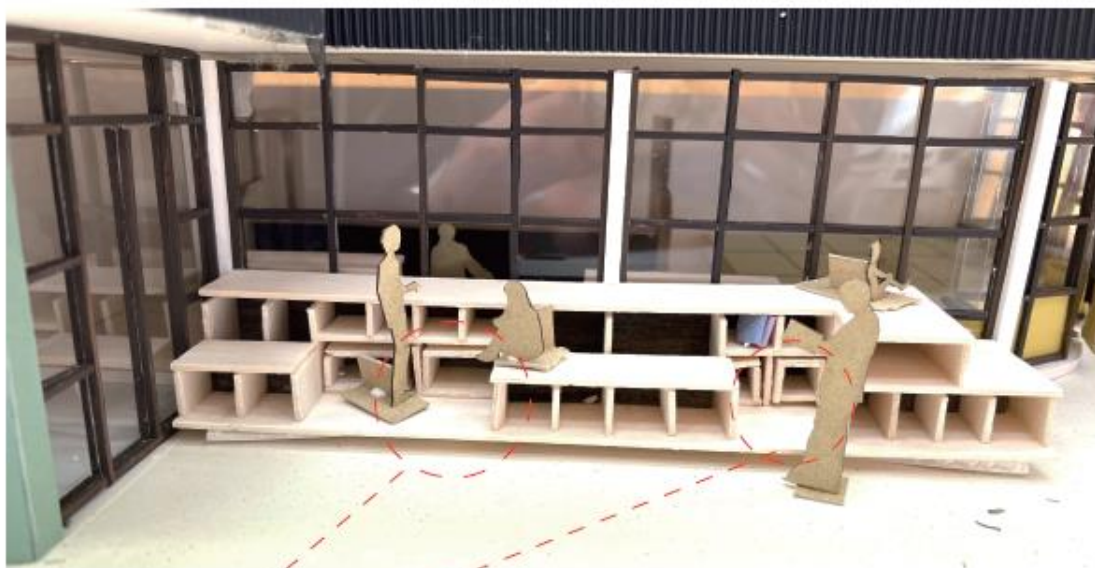
1-2 新たな出逢いを生む仕組み



家にあるものを持ち込むことができ、ここにあるものは誰でも持ち帰ることができる。ここにくると新たな物に出会える

使われ方例

それぞれ過ごしたい場所で思い思いの時間を過ごす



移動式家具を動かす



移動式家具をさらに動かす

ディスプレイに変わりマルシェなど買い物を楽しむことができる



求心性を持ちみんなて会話を楽しめる場所となる

使われ方例 室内 室内は小型に分割されていて移動が可能 組み合わせ次第で使い方は多様になる

物置スペース付きのカウンターで料理



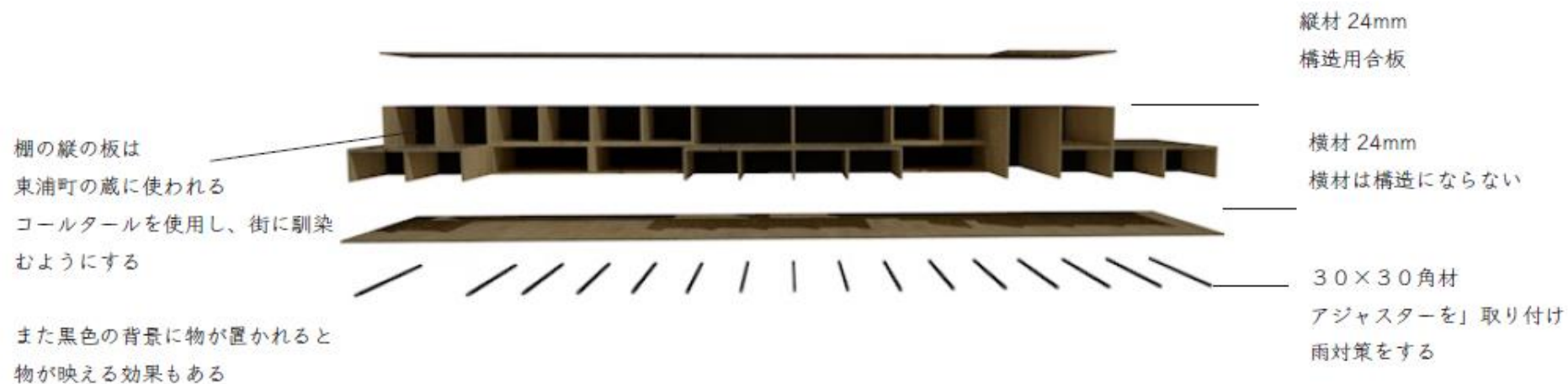
畳がステージに



読み聞かせ台がいろいろ



作り方



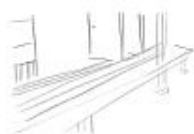
四角で構成されている為ワークショップで簡単につくることができる

2. 室内と屋外の活動が寄せ合い活動が溢れ出す



蔵

×



縁側

=



棚のある階段状の縁側

室内の人とお話

近所の人を持ち寄った本に出会える

平面図

